

# CADPAC CIVIL Ver.15

## 新機能概要 (Ver.14 との比較)

### ■汎用機能

1. 64 ビット対応.....	2
2. SXF 入出力 ZIP 圧縮.....	2
3. 部分図のシート複写.....	2
4. ニュートラルモードの要素選択.....	2
5. 図面開く.....	2
6. ファイン表示.....	3
7. 処理速度の向上.....	3
8. 出図プレビュー.....	4
9. システム設定入出力フォルダ.....	4
10. DXF/DWG 入力角度寸法.....	4
11. DXF/DWG 出カマルチテキスト.....	5
12. DXF/DWG 入出力文字飾り.....	5
13. DXF/DWG 入カバルーンの引出線.....	5
14. 雲形.....	6
15. 部分スタイル.....	6
16. レイヤー右パネル.....	7
17. 一括変換.....	7

### ■その他のオプション

18. カラーラスター / カラーラスターライト.....	7
-------------------------------	---

# Ver.15 新機能

CADPAC-CIVIL Ver.15 で追加・拡張された機能の概要をまとめます。  
記載された機能は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.14 からの差分です)

## 1. 64bit 対応

プログラムを 64bit ネイティブ対応しました。  
これにより OS が 64 ビットであれば、PC に搭載されたメモリをフルに利用できるようになります。  
対応 OS は、vista を除く Windows 7 以降の 64 ビット OS です。  
64 ビットプログラムは、本システムをインストールする際に、指定可能です。



## 2. SXF 入出力 ZIP 圧縮

CALS/EC 電子納品で使用される共通ファイル形式で、圧縮フォーマットの \*.sfz と \*.p2z に対応しました。  
\*.sfz は、sxf ファイルの圧縮フォーマット、  
\*.p2z は、p21 ファイルの圧縮フォーマットです。  
圧縮フォーマットにより、ファイルサイズの大きいものは従来比 1/5 程度のファイルとなります。  
またラスターの混在する図面では、一緒にラスターデータも圧縮されるため 1 ファイルで受け渡すことが可能です。

## 3. 部分図の シート複写

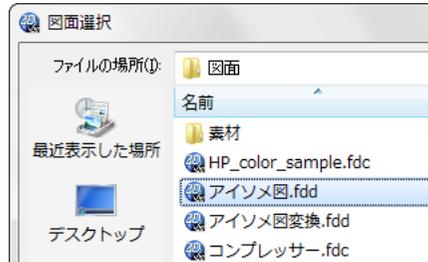
SXF (土木系 CALS/EC 用) の部分図要素もシート複写ができるようにしました。

## 4. ニュートラルモード の要素選択

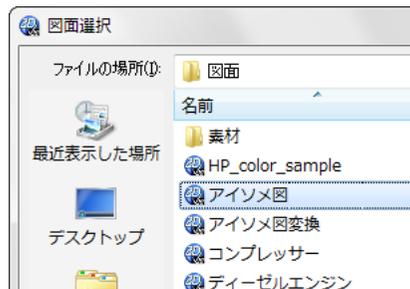
ニュートラルモードで要素選択後に、ダイレクトキーでコマンドを起動しても、要素選択内容が保持されるようにしました。

## 5. 図面開く

Windows のフォルダオプションで「登録されている拡張子は表示しない」設定にした場合、CADPAC の開くコマンドのダイアログボックスで拡張子を表示しないようにしました。拡張子を表示する設定の場合は、従来通り拡張子が表示されます。



Ver.18.0 までは必ず  
拡張子が表示された



Ver.18.5 からは拡張子  
は表示されない

Ver.18.5 を更新インストールした場合、以前のバージョンですでに CADPAC 図面が関連づけられている場合は、ファイル関連づけツールで再登録する必要があります。

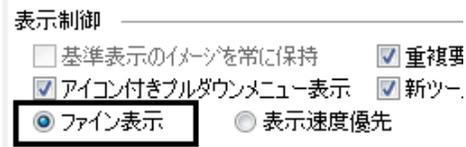
## 6. ファイン表示

要素数の多い図面（線分系）の表示高速化を行い、従来比 20% アップを実現しました。

4K モニターでも正しく表示できるよう調整しました。

ファイン表示の [ アンチエイリアシング ] 機能は廃止となりました。

ファイン表示は、補助 / システム設定 / 表示 / ファイン表示のチェックをオンにします。



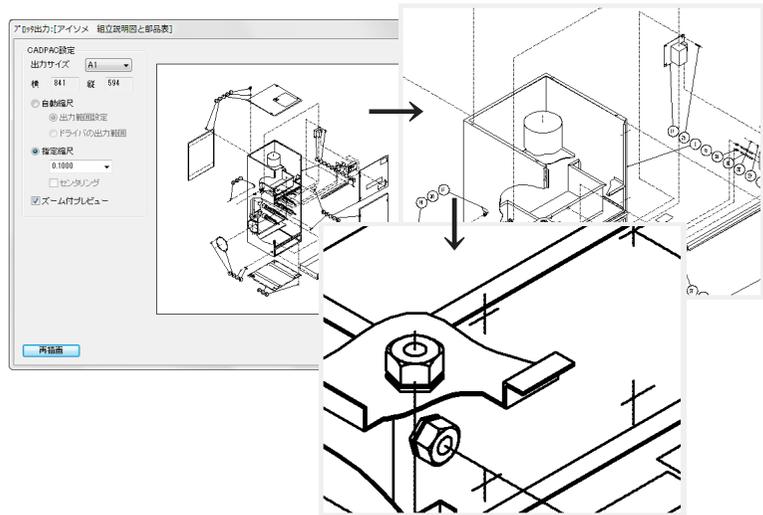
## 7. 処理速度の向上

以下のコマンドの処理速度を向上させました。

- ・ グループ要素の切取移動 10 倍 (Ver.17.5 比較)
- ・ 重複線消去 2 倍 (Ver.17.5 比較)

### 8. 出図プレビュー

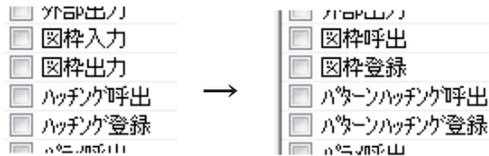
出図のプレビュー画面で、従来は1回だけのズームアップでしたが、複数回ズームアップができるようになりました。【ファイル / 出図】



### 9. システム設定 入出力フォルダ

コマンド項目名を以下のように変更し分かりやすくしました。

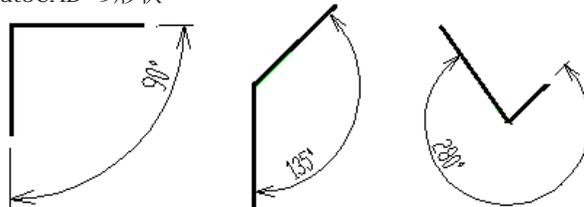
- ・「図枠入力」 → 「図枠呼出」
- ・「図枠出力」 → 「図枠登録」
- ・「ハッチング呼出」 → 「パターンハッチング呼出」
- ・「ハッチング登録」 → 「パターンハッチング登録」



### 10. DXF/DWG 入力 角度寸法

AutoCAD で作図された角度寸法を入力した際、互換性を向上させました。以下のような形状も取り込めるようになりました。【ファイル - 外部入力 /DXF/DWG】

AutoCAD の形状

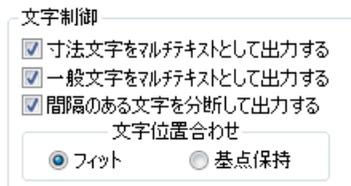


## 11. DXF/DWG 出力 マルチテキスト

文字間隔のある文字列を CADPAC の見た目に近づけて出図できるように以下の拡張を行いました。

- ・ AutoCAD のマルチテキストとして出力する。
- ・ 極端に文字間隔の大きい文字列の見た目を合わせるため、1文字ごとに分断して出力できるようにする。

[ファイル - 外部出力 /DXF/DWG]



## 12. DXF/DWG 入出力 文字飾り

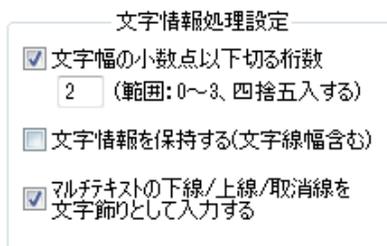
### 【DXF/DWG 出力】

CADPAC の文字飾りのうち、[下線]、[上線]、[消し線]を AutoCAD のマルチテキストとして出力します。

### 【DXF/DWG 入力】

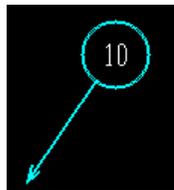
AutoCAD のマルチテキストの [下線]、[上線]、[取消線]を CADPAC の文字飾りとして入力します。

上記文字飾りの CADPAC と AutoCAD の互換性が高まり、相互に編集が可能になりました。



## 13. DXF/DWG 入力 バルーンの引出線

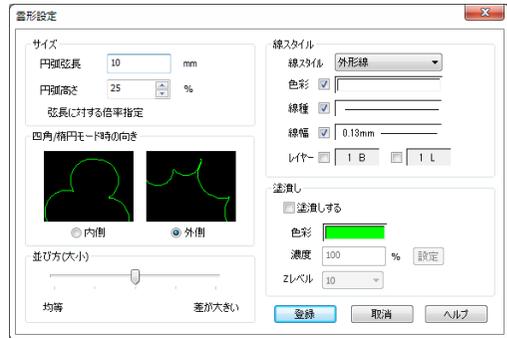
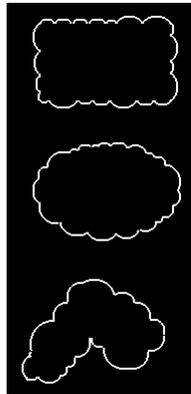
従来マルチ引出線は注釈形状のみの変換対象でしたが、Ver.18.5 よりマルチ引出線のバルーン形状 (ブロック図形がアタッチされたタイプ) にも対応しました。CADPAC のバルーン要素としては入力されません。



14. 雲形

雲形を作図する新コマンドを追加しました。

四角、楕円、多角点の3種から形状を選択できます。雲形を構成する円弧の高さ（矢高）や長さ、ランダムに生成される円弧の大小差、線の色や塗りつぶしの濃度等様々な設定が可能です。[作図 - 定型 / 雲形]

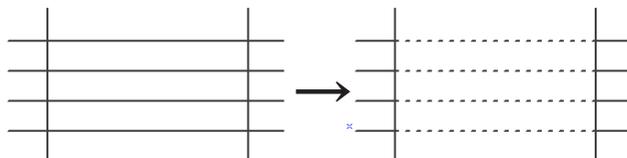


15. 部分スタイル

指定2要素との2交点間の部分変更が可能な[2要素間]の機能を追加しました。枠選択により、複数要素を一括で指定が可能です。

また従来モードでは、[交点間]のオンオフで分けていた、[2点間]と[交点間]をCSBボタン化し分かりやすくしました。

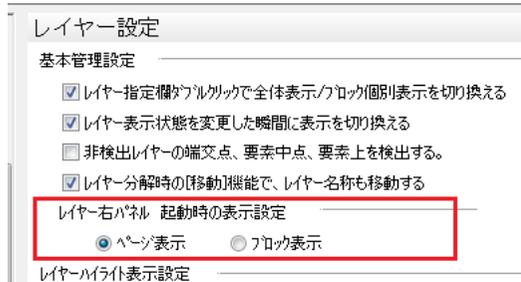
[編集 - スタイル / 部分スタイル]



2要素間は、変更したい部分を枠で囲い複数要素を一括で変更することができるので便利です。

## 16. レイヤー右パネル

レイヤー右パネルの起動時の状態を、「ページ表示」か「ブロック表示」で指定できるようにシステム設定に項目を追加しました。従来は必ず「ページ表示」で起動していました。〔補助-システム設定/レイヤー〕



## 17. 一括変換

同じ拡張子で一括変換した場合（FDC → FDC など）、旧バージョンで保存した図面を本バージョンで保存された図面に一括変換されるようにしました。

CADPAC View（モバイル端末用 CADPAC ビューア）で図面を閲覧するためには、最新バージョンで保存されている必要がありますので、旧バージョンの図面はこの機能で一括変換することが可能となりました。

## オプション

18. カラーラスター  
カラーラスターライト

ラスター入力で4文字拡張子の「TIFF」に対応しました。  
〔専用 / カラーラスター、カラーラスターライト〕

